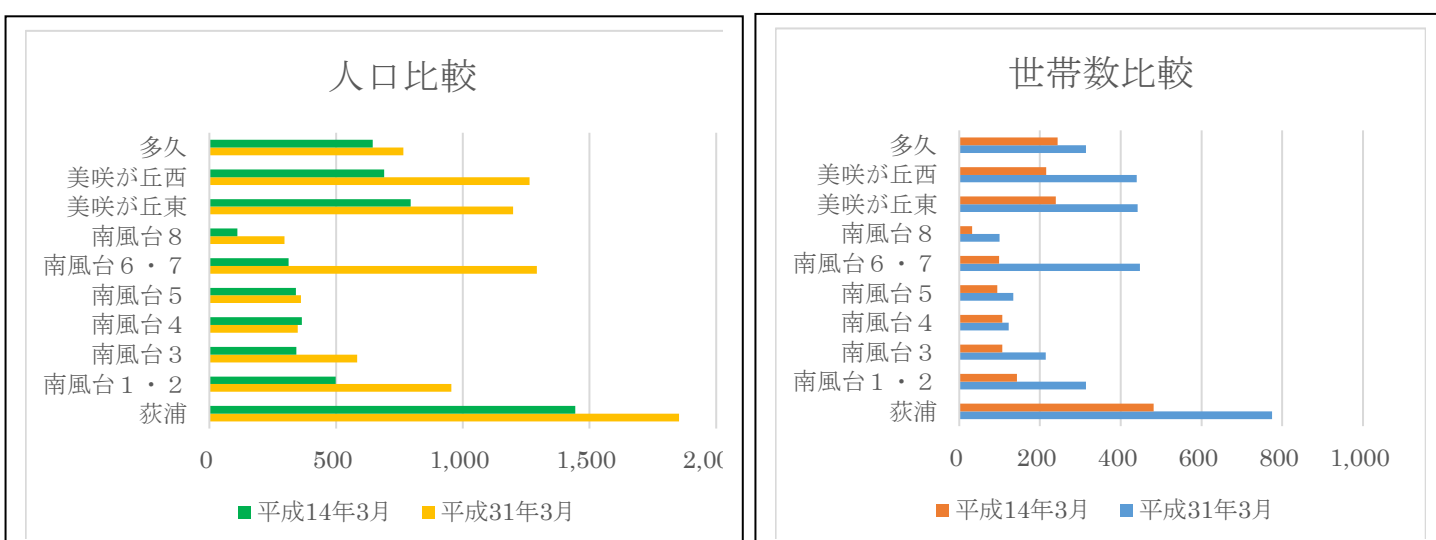


➤ 南風校区 20 周年 ～平成の時代から令和の時代へ～

私たちの南風校区は平成12年4月に発足いたしました。発足当初の人口は1,375世帯4,363人、小学生の数も411人と小規模な校区でした。（糸島市地域振興課調べ）

時を経て、今年度南風校区は **20 周年** を迎えます。先日のスポーツイン南風でのバルーンリリースをはじめ、**10 月には記念式典、3 月には記念誌の発行**を予定しています。この 20 年間を数字で振り返りながら、住民ひとりひとりが「住みたい、住み続けたい街」を実感できるようになればと思います。

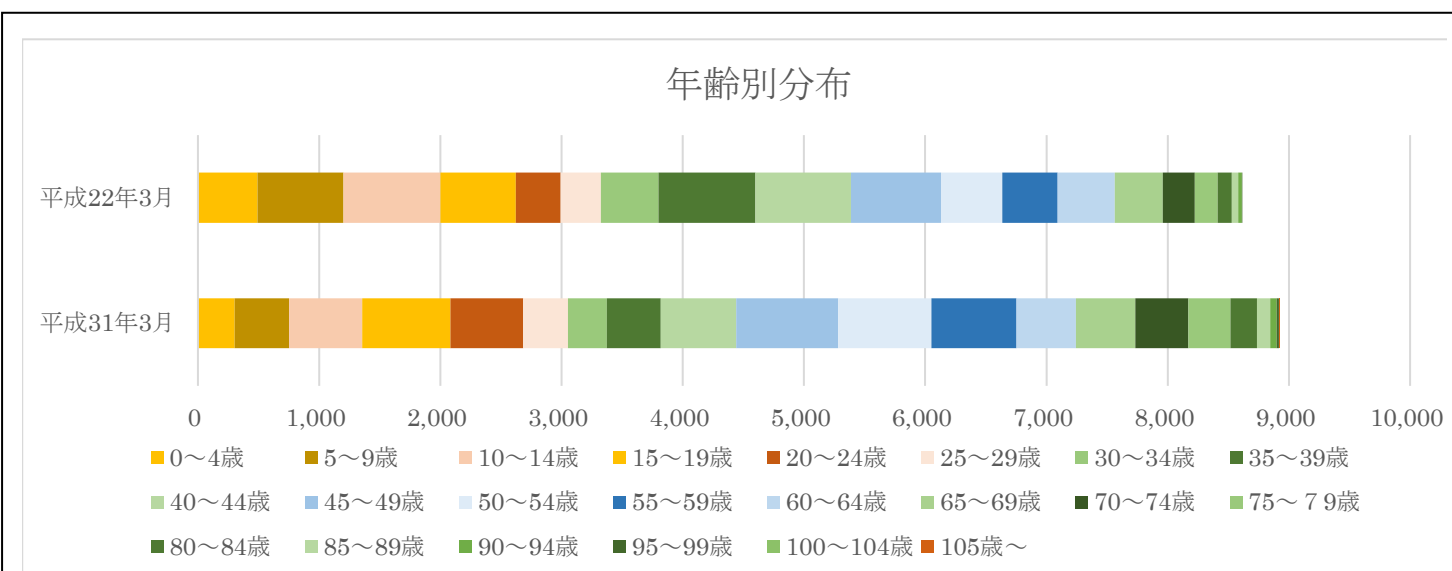
* 数字で見る南風校区 （糸島市統計より）



* 少子高齢化について

	校区総人口	うち 14 歳未満	糸島市	うち 65 歳以上	糸島市
平成 22 年 3 月末	8,618 名	1,999 名 (23.2%)	14.4%	1,055 名 (12.2%)	21.2%
平成 31 年 3 月末	8,919 名	1,354 名 (15.2%)	13.7%	1,677 名 (18.8%)	28.7%

（南風小学校の生徒数は平成 21 年度の 965 人をピークに、今年度は 577 人と減少しております）



みんなの みなかぜ

～住みたい、住み続けたい街～

第9号＜保存版＞

令和元年6月1日

南風校区運営委員会

共創プラン推進委員会

南風校区は今年度 20 周年を迎えました！

➤ 南風校区運営委員会より

平成 31 年 4 月 21 日 南風校区運営委員会総会が開催され、昨年度の事業報告や今年度の行事や予算が承認されました。役員については5月1日発行の「公民館だより」(<http://www.city.itoshima.lg.jp/c005/030/100/minakazedayori-31.5.1.pdf>)をご覧ください。

令和元年度 住民の皆様が参加できる主な行事予定(すでに終了した行事も掲載しています)

月	日	曜日	事業名	主催団体	記号	参加者数(約)	場所
5	26	日	スポーツイン南風	体育委員会	○	1,500人	南風小学校
5	26	日	バルーンリリース(20周年記念事業)	校区運営委員会		1,500人	南風小学校
6	1	土	認知症サポーター養成講座	校区社協	◎	50人	多久集落センター
6	14	金	地域ささえあいサポーター養成講座	糸島市社協	*	30人	南風公民館
6	21	金	青バト講習会	青少年育成指導員会	◎	50人	南風公民館
6	29	土	同和問題啓発強化月間人権講演会	市同協南風支部	○	100人	南風公民館
6	30	日	ビーチボールバレー大会	体育委員会	◎	500人	南風小学校
7	12	金	地域ささえあいサポーター養成講座	糸島市社協	*	30人	南風公民館
8	9	金	地域ささえあいサポーター養成講座	糸島市社協	*	30人	南風公民館
8	24	土	南風ふれあい夏祭り	夏祭り委員会	◎	3,000人	南風小学校
9			敬老祝賀会	各行政区			行政区公民館等
9	22	日	校区ソフトボール大会	体育委員会	○	500人	曽根グラウンド
10	12	土	認知症サポーター養成講座	校区社協	◎	50人	荻浦公民館
10	13	日	南風校区 20 周年記念式典	校区運営委員会	*	70人	南風公民館
10	13	日	第 17 回南風音楽祭	音楽祭委員会	◎	200人	南風公民館
11	上旬		多世代交流グラウンドゴルフ大会	シニアクラブ	*	100人	南風小学校
11	9	土	校区文化祭	文化委員会	◎	1,500人	南風小学校
12	未定		校区防災講演会	校区運営委員会	◎	100人	南風公民館
12	1	日	人権週間 人権映画祭	市同協南風支部	◎	100人	南風公民館
1	未定	日	みなかぜ落語会	南風公民館	◎	100人	南風公民館
3	9	土	多久川清掃	多久川の自然環境を守る会	◎	100人	多久川
3	下旬		第 3 回サークル発表会(予定)	サークル実行委員会	◎	150人	南風公民館
未定			みなさんぼ	共創プラン推進委員会	*		南風小学校

(記号について) ◎… 自由参加 ○… 行政区の担当委員に申込み *… 主催団体に事前申し込み
※事業内容について、詳しくは主催団体又は南風公民館(電話:322-9656)までお問合せ下さい。



令和元年度校区運営委員会　＜一般会計＞　予算					
《収入の部》					
項　　目		30 年度予算額	30 年度決算額	元年度予算額	内　　　　　　訳
	繰越金	4,177,465	4,177,465	3,719,825	
	団体からの戻入小計	0	98,856	0	
	運営負担金	2,931,000	2,931,000	2,988,000	各行政区　12　月末世帯数 × 0.7 × 1,300 円
	市補助金	1,200,430	1,220,430	1,300,430	社会教育関係団体補助金（体育） 200,430 まちづくり推進事業補助金　 1,100,000
	雑収入	5,500	32	0	預金利息　　寸志
合　　計		8,314,395	8,427,783	8,008,255	
《支出の部》					
項　　目		30 年度予算額	30 年度決算額	元年度予算額	内　　　　　　訳
総 務 費	会議費	10,000	8,348	10,000	総会他
	事務費	80,000	108,290	80,000	印刷製本費・通信費・送金手数料
	渉外費	40,000	15,000	20,000	各種団体・寸志等
	負担金	20,000	20,000	0	国道 202 号線期成会校区負担金
	研修費	50,000	0	50,000	運営委員研修活動費
	小　　計	200,000	151,638	160,000	
校 区 事 業 費	校区運営委員会事業費	1,279,600	1,267,230	1,291,000	校区総合情報誌　　　　　130,000 まちづくり事業補助金　　1,100,000 まちづくり事業校区負担金　 61,000
	防災委員会　*1	170,000	0	170,000	防災事業助成金
	体育事業費	400,000	400,000	360,000	体育事業助成金
	文化事業費	330,500	330,500	184,000	校区文化祭事業助成金
	夏祭り事業費	815,000	771,000	815,000	南風夏祭り事業助成金
	校子連事業費	85,000	85,000	85,000	校子連事業助成金
	校区社協事業費	310,000	310,000	250,000	福祉事業助成金
	青少年育成指導員会事業費	107,000	107,000	147,000	青少年育成・防犯事業助成金
	青パト運行費	20,000	20,000	20,000	青パト運行事業費助成金
	音楽祭事業費	212,000	212,000	212,000	音楽祭事業助成金
	共創プラン推進事業費	95,000	95,000	95,000	共創プラン推進事業助成金
	市同協南風支部	31,000	31,000	20,000	人権同和教育推進事業助成金
	シニアクラブ	80,000	80,000	80,000	団体助成金
	校区ボランティア奨励金	50,000	50,000	50,000	「ひまわりの会」「そよかぜ文庫」 「ふれあい農園」「IT 南風の会」 「多久川を守る会」 奨励金　各 10,000
	校区事業予備費			500,000	
	小　　計	3,985,100	3,758,730	4,279,000	

青パト積立金	650,000	650,000	200,000	購入積立(定額) 10 万＋車検積立 10 万
看板設置場所賃借料	1,500	1,500	1,500	看板設置場所賃借料
記念事業積立金	50,000	50,000	50,000	
予　備　費	3,427,795	96,090	3,317,755	
合　　　　計	8,314,395	4,707,958	8,008,255	

＊1　防災委員会は昨年度立ち上げ予定でしたが、今年度に延期になっております。

➤ 委員会紹介　～共創プラン推進委員会～

共創プラン推進委員会委員長　渋谷　栄一（荻浦）

平成22年度に、糸島市役所から各校区へまちづくり共創プランの策定と活動の依頼がなされました。南風校区共創プランを考えるべく全戸住民の方々を対象にアンケート調査を実施し、校区の問題点や改善点及び良い点等の確認作業を行い、南風校区創立のメインテーマ「融和とふれあいのまち」を基本とし、今後のまちづくりのテーマを「住みたい、住み続けたい街」として平成23年度から10年間の活動計画を策定し、平成23年から南風校区共創プラン推進委員会を組織し、テーマに基づいた活動をスタートさせました。

当初の委員会メンバーは、各行政区選出委員10名と各委員会代表者15名の合計25名で構成され、活動内容は、3部門構成の企画広報部会、交流連帯部会、安全安心環境部会とし、現状の校区運営委員会行事の改革や改善項目の洗い出しまちづくり推進企画案などの討議し、南風校区の将来像を模索しながら、テーマの「住みたい、住み続けたい街」は何かを探す委員会を運営しました。

南風校区のまちづくりをテーマに糸島市まちづくり予算を活用し、青パト車両の購入を手始めに色々なハード面の充実を図りながら、最終的には備品倉庫建設まで区長会の方々と連携を取りながら事業を進めていきました。ソフト面では校区運営委員会活動や各委員会活動の予算、人員の検証を行いました。また、廃止した校区運営委員会理事会の再構築を提言し、理事会を復活していただきました。但し、共創プラン推進委員会の存在や活動が住民の方々に対して認知度が低いとの指摘に対して、住民の方を対象に、校区内の歴史や環境を再認識頂くために、「みなさんぼ」を開催しています。今では、南風小学校6年生と1年生とが一緒に参加して、土曜教室の授業となっています。また、まちづくり事業として、広報誌「みんなのみなかぜ」を校区のイベントや各委員会の紹介及び各行政区の紹介等を掲載し発行しています。

平成30年度に糸島市役所より共創プランの総括実施と結果報告及び平成31年度から更なる10年間の共創プラン策定の要請があり、再度アンケート調査を実施させていただき、校区の現状や問題点など洗い出すことが出来ました。ご回答を頂きありがとうございました。

今年度からも、「住みたい、住み続けたい街」を求める活動と校区運営委員会活動の更なる充実とアンケート調査で頂いた貴重なご意見を基にした改革や改善を展開していく活動を行います。

共創プランのアンケートの詳細について南風公民館 HP の「校区の情報・活動」に掲載しています。ぜひご覧ください。（<http://www.city.itoshima.lg.jp/c005/index.html>）

